

8月は飛驒をまるごと食べんな月間

澄んだ空気や清らかな水、冷涼な気候に育まれる飛驒高山の「食」は、市民の皆様はもちろん、訪れる観光客の皆様にとっても魅力に満ちあふれています。

「食」とは人が生命と健康を維持するうえでもっとも基本的な要素です。その食は「農」によって支えられています。一年でもっとも多くの農産物を目にするこの季節だからこそ、食と地産地消を考えてみませんか。



地産地消サポーター店舗はこのポスターが目印です

地元の農産物を使って大切な人に「手作り弁当」



地元食材（米、野菜、果物、肉、川魚、卵、牛乳など）を使って手づくりしたお弁当を募集します。

応募要件 飛驒地域で生産された農産物を2品以上使い、手作りであること

対象 市内在住の小学生、中学生、高校生（小学生は親子で協力して作った弁当も可）

応募方法 応募用紙に必要事項を記入のうえ、お弁当の完成写真を添えて9月4日（金）までに窓口・MAIL

※応募用紙は農務課（本庁6階）、市民コーナー（本庁1階）、各支所にあるほか、HPからもダウンロードできます。

※写真は返却しません。また、応募に係る経費は全て応募者の負担となります。

※応募作品は9月中旬に市役所ロビーで展示するほか、応募者には参加賞を贈呈します。

地産地消グルメスタンプラリー

地元食材を使った料理を提供する登録店舗で食べて・飲んで・スタンプを集めて、地元産品を手に入れよう！

参加方法

①市内の登録店舗で1,000円以上の食事をして応募用紙にスタンプを押してもらいます

②スタンプを3つまたは5つ集め、住所や氏名を記入のうえ、切手を貼って投函します

景品など 抽選のうえ、下記景品をプレゼントします

スタンプ5個…飛驒牛5,000円相当を3人に

スタンプ3個…地元農産物や加工品3,000円相当を5人に

なお、抽選に外れた方も登録店舗で使える食事券などが抽選で当たります。

※登録店舗の一覧やスタンプ用紙は農務課（本庁6階）、市民コーナー（本庁1階）、各支所にあるほかHPからもダウンロードできます。

※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。なお締切は10月9日（金）消印有効です。

問合先 市地産地消推進会議（農務課内）
☎35-3141 Mail:noumu@city.takayama.lg.jp

- ▼クマに出会わないために
鈴やラジオなど音の出るものを身につけ、人の存在をクマに知らせる。
- ▼クマの行動が活発な朝夕や霧の出ている時の入山を控える。
- ▼クマのフンや足跡を見つけたら引き返す。
- ▼山へ入った時は、残飯などのごみを必ず持ち帰る（味を覚えさせない）。
- ▼入山地域のクマ情報を収集する。
- ※県内の目撃情報は、県ホームページ「クママップ」で確認できます。
- ※市内の目撃情報はメールで受信することがあります（市メール配信サービス「安全安心」を選択）。



屋外の活動ではクマにご注意を

クマの目撃が相次いでいます。山や山の近くで活動する時は十分な注意が必要です。

問合先 農務課 ☎35-3141
広報ID 1005051

■ツキノワグマ目撃情報

	H24	H25	H26	H27
4～6月	68	58	40	60
7～9月	146	82	162	
10～12月	19	8	272	
合計	233	148	474	

H27は6月30日までの数値（農務課調べ）

- ▼クマを人里周辺に寄せ付けないために
畑や庭先などに生ごみなどエサになるものを放置しない。
- ▼クマを誘う恐れのある果樹の実を採取しておく（栗や柿など）。